



早いもので、明日で1学期が終わります。最初は担任が替わったことでとまどう子ども達もいましたが、私は、子ども達とかかわりながら子ども達が少しずつ気持ちを寄せてくれることがうれしかったです。1学期、少しずつ生活様式が変わってきました。子ども達はマスクをしたり外したりを活動によって対応しながら、健康安全な生活習慣を意識して過ごしてきました。おうちの方には、1学期間、保育へのご協力ありがとうございました。

考えて、試して、工夫して・・・

砂場遊び、土山遊び、樋を使った遊び、石鹸遊び。外遊びで遊んだ遊びです。どの遊びも子ども達は遊びながら、「こうしたいな」「どうしてこうなるんだろう?」「うまくいかなかった、どうしたらいいかな?」「やっぱり予想した通りになった」「面白い!もう一回やろう」「友達がやっているやり方を自分でもやってみよう」「友達と一緒にしたらうまくいった」と考えたり試したり工夫したりしていました。

ある時 A ちゃんが樋をつなげてスコップを流していました。なかなか一番遠くまで流れません。時々表情を曇らせながら、諦めずに繰り返していました。その様子から教師は、A ちゃんが一番遠くまで流したいと強く思っていることを感じました。何回か流した時に「もっといっぱい?」とつぶやきました。そして、バケツ一杯に水を入れて来て流しました。すると一番遠くまで流れたのです。A ちゃん「やったー!」と笑顔。そして教師のところに来て「なんで行かなかったかっていうと、バケツにもっといっぱい入ってなかったから!」と教えてくれました。

このエピソード以外にもたくさん、子どもたちが遊びの中で“こうしたい”というめあてをもって、それに向かって繰り返し遊ぶ姿をたくさん見付けることができました。

プール遊び

昨年はできなかったプール遊び。プールの組み立てからずっと楽しみにしていました。プールの中での活動人数は多くて8人。交代しながら入りました。プールの中に入ると、「うわ〜!」「歩きにくい!」「気持ちいい!」と言葉が出てきました。年長児のプール遊びのねらいは、“水の心地よさを感じたり、水の中での動きにくさや体が浮く感覚を感じたりすることを楽しむ”です。水の中に座って顔洗いに挑戦しました。友達が見てくれると思うと、たくさん水を顔に掛けることができた子どももいました。プールの中を走るとなかなか進まないし、転ぶし、動きにくいことを感じていました。浮き輪を使って遊ぶと体が浮かんで前に進んだりくるくる回ったりして浮かぶ心地よさを感じていました。



なつまつりたのしかった！

昨年になつまつりの経験から、今年もやってみたいということになりました。昨年遊んだお店を思い出し、「同じお店をやりたい」と決めました。話し合いの中で、教師が「このお店は誰がやるの？」と尋ねると「先生！」と。(もも組の時は、クラス交流ができなかったため、もも組のお店の当番は教師が担当しました。) 年長児としてのなつまつりのねらいは“友達と一緒にお店の人になったりお客さんになったりしてお店屋さんごっこを楽しむ”です。そこで、教師は「先生は、お店の当番をする自信がないわー」と言うと「大丈夫やって」「やってみればできる」と励ましてくれました。教師が困った顔をしていると「じゃあ、ぼくたちと交替ごうたいしたらいい」と言う意見が出ました。

なつまつり当日、「いらっしゃいませー」と大きな声で呼びかけたり、「〇〇してください」と丁寧な言葉で話したりしていました。ほかにも、ボーリングでどこから投げているかわからないもも組さんに手で指示して「ここからです」と教えたり、お客さんが来なくなった時に、大きな声で「〇〇やさんに来てくださーい！」と呼び込みをしたりする姿が見られました。

お店当番を責任をもってしようとし、お客さんとのやり取りを楽しんでいました。

野菜を育てよう！

自分で育てたい野菜の苗を選んで、水やりをしてきました。今年の気候で生長が少し遅いのかな？と少し心配していますが、「花が咲いてる」「ピーマンできてた」と水やりをしに行くたびに驚きや喜びの声が聞こえてきました。

夏休み中も水やりをして育ててください。植木鉢と土と支柱は2学期に入ってから持ってきてもらう日をお知らせします。収穫が終わっても、おうちで保管しておいてください。



正しい箸の持ち方に挑戦

お弁当の時間に少しずつ練習していました。最初は1本だけで正しい鉛筆の持ち方をします。そして1本だけで動かします。指先だけを動かすのは難しいですが、手首が動かないように頑張っています。そして、2本目の箸を1本目の下に入れて2本を正しく持ちます。箸先を閉じて持つのは難しいですが、正しい形の持ち方に近づいてきています。

おうちでも、挑戦してみてくださいね。

1学期の初日に、張り切ったような、ドキドキしたような表情で2階のそら組に入ってきた子どもたちが、友達や先生とのいろいろな遊びや生活を通して、年長組としての生活に慣れてきました。遊びの中では、砂場での水路づくりやトロトロの泥がある場所を見つけたり、自分たちで遊び方を決めてしっぽとりをしたりしながら、友達と関わって遊ぶと楽しいと感じています。竹馬も、ちょっと苦手だなと感じてもあきらめないで乗ろうとしています。

この経験を土台に、2学期もいろいろなことに挑戦して行ってほしいと願っています。